

標 題	施設外就労（農福連携）をテーマにワークショップを開催 in 益田市 ～出された意見を整理し、新たな展開を～
------------	--

（ダイジェスト）

1月28日（火）に益田市内にある障がい者就労支援事業所の役職員9名の参加を得て、農業での施設外就労に関するワークショップが開催（主催：益田市）されました。日頃から感じている多くの意見等が書き出され、今後は「チーム益田農福（*）」が中心となり、益田市版農福連携に取り組んでいくことにしています。

益田市内には障がい者就労支援に関わる事業所が11カ所（移行1、A型3、B型7）あり、その内9事業所が既に農福連携に取り組んでおり、残り2事業所も今後取り組みたいとの意向を示しておられます。一方、農業サイドは労力不足が喫緊の課題であるため、その期待が年々高まってきていることから、今回、施設外就労に特化した意見出し作業を行いました。

これまでの取り組み経過や施設外就労の状況等を共有した後、2班に分かれて、「良かったこと、苦労したこと」「続けている理由、止めた理由」などを書き出し、その付箋を模造紙に貼り付け、カテゴリーごとにグルーピングしてもらいました。主なものとして、お試的に取り組める体験制度の充実、農福を結び付けるマッチング体制の早期構築、農家需要に応えるための福福連携の強化、働きやすい環境整備（トイレ等）など挙げられました。短時間にも関わらず、作業がスムーズに運んだのは、テーマを施設外就労に絞っていたこと、事前に依頼してメモを持参してもらったこと、さらに何よりもほとんどがワークショップの経験者であったことからでした。



今後、出された意見を「チーム益田農福（事務局：益田市）」が中心となって整理し、益田市らしい農福連携が早期にかつ広域的に展開できるよう、関係機関一丸となって取り組んでいくことにしています。

*「チーム益田農福」の機関
 福祉事業所（フルール益田）、JAしまね西いわみ地区本部、益田障がい者就業・生活支援センター
 益田養護学校、NPO 島根県障がい者就労事業振興センター、益田市（農林水産課、障がい者福祉課）
 西部農林振興センター益田事務所